

**Topic** 卵殻廃棄物の再資源化への取り組みが「2023愛知環境賞」で優秀賞受賞

当社は、愛知県が主催する「2023 愛知環境賞」において、廃棄される卵殻をガラス原料へ再利用する取り組みが評価され、「優秀賞」を受賞しました。

卵の加工工場で廃棄されていた卵殻をガラスのカルシウム原料の代替として使用する業界初のビジネスモデルを構築し、ガラス製造時の天然資源投入量を削減したことは、サーキュラーエコノミーへの転換による循環型社会の形成に大きく貢献するものと評価されました。

引き続き検討を行い、卵殻の利用率向上を進めています。

▶ WEB ▶ 愛知環境賞  
<https://aichi-shigen-junkan.jp/kankyoushou/award/detail/245>



原料に卵殻を使用したガラス食器

## 汚染の防止と管理



### 化学物質管理

当社では、取り扱う原材料や諸資材についてのSDS(安全データシート)を管理・共有し、健康被害へのリスク管理や、環境汚染防止に努めています。

無機系ガラス抗菌剤「イオンピュア」を製造・販売する新事業・機能材料カンパニーでは、海外の化学物質規制に対応するための専門部門を設けるなど、グローバルな管理体制を構築しています。米国のEPA(米国環境保護庁)、FDA(米国食品医薬品局)などの認証を取得しているほか、欧州のBPR(EU殺生物性製品規則)への対応に取り組んでいます。

### 土壌汚染対策

岩倉工場の土壌汚染(2021年10月公表)は敷地外への汚染拡散の恐れはありませんが、引き続きのモニタリングによる維持監視を継続しております。

姫路工場については、土地改変エリアで新たに土壌基準値超過を確認したことから姫路市に報告しました。汚染の拡散の恐れはありませんが、引き続き適切に対応していきます。

▶ WEB ▶ 当社所有地(兵庫県姫路市)における土壌調査結果について  
<https://www.ishizuka.co.jp/2022/11/07/2392>

**Topic** ESG融資による資金調達  
 サステナブルファイナンスを利用した資金調達

• サステナビリティ・リンク・ローン締結((株)滋賀銀行、ならびに(株)中京銀行)

長期ビジョン「ISHIZUKA GROUP 2030」において「環境と調和した持続可能な未来社会への貢献」で掲げた「CO<sub>2</sub>排出量の削減目標」を事業挑戦目標(サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット=SPTs)に設定し、サステナビリティ・リンク・ローンとしての適合性とSPTsの合理性について、株式会社しがぎん経済文化センター、R&I(株式会社格付投資情報センター)から、それぞれにセカンドオピニオンを取得しています。

▶ WEB ▶ 滋賀銀行リリース  
<https://www.shigagin.com/news/topix/2719>

▶ WEB ▶ 中京銀行リリース  
<https://www.chukyo-bank.co.jp/showimage/pdf?fileNo=1318>

• 「DBJ環境格付」に基づく融資((株)日本政策投資銀行)

「DBJ環境格付」に関わるスクリーニング結果による総合評価は、「環境への配慮に対する取り組みが先進的」という格付を取得しました。

▶ WEB ▶ 日本政策投資銀行リリース  
[https://www.dbj.jp/topics/dbj\\_news/2022/html/20230131\\_204153.html](https://www.dbj.jp/topics/dbj_news/2022/html/20230131_204153.html)

2022年度 サイト別データ

項目	単位	岩倉工場サイト [日本パルソン (株)含む]*1	東京工場サイト [日本パルソン (株)含む]*2	姫路工場 サイト	石塚王子ペーパー パッケージング(株) 福岡工場サイト	ウイストーン (株)	久金属工業 (株) [大阪・滋賀]*3	北洋硝子 (株)	鳴海製陶 (株) [グループ]*4	各支店・ 営業所	計	
エネルギー	総エネルギー	千GJ	1,754.9	849.7	645.2	65.2	51.8	7.0	32.0	238.8	4.6	3,649
CO <sub>2</sub>	排出量	千t-CO <sub>2</sub>	89.0	36.1	34.1	2.7	2.1	0.3	2.0	13.4	0.2	180
用水	総使用量	千m <sup>3</sup>	658.6	108.2	129.4	8.6	8.3	0.9	5.8	108.3	—	1,028
廃棄物	副産物等 排出量*5	t	2,103	1,303	1,303	3,535	220	178	223	821	—	9,687
	副産物 有効利用量	t	1,858	1,301	1,210	3,529	220	176	3	31	—	8,329
	有効利用率	%	88	100	93	100	100	99	2	4	—	86
ばい煙	ばいじん	t	12.0	0	0.6	0	0	<0.1	<0.1	0.1	—	13
	SO <sub>x</sub>	t	59.8	0	2.4	0	0	0.1	1.6	0.8	—	65
	NO <sub>x</sub>	t	241.3	0	77.4	0	0	0.1	0.9	1.6	—	321

\*1 岩倉工場サイトは、日本パルソン(株)岩倉工場分を含むサイト全体の実績値です  
 \*2 東京工場サイトは、日本パルソン(株)東京工場分を含むサイト全体の実績値です  
 \*3 久金属工業(株)は、大阪本社工場分と滋賀工場分を合計した実績値です  
 \*4 鳴海製陶(株)の算定範囲は本社工場および各支店・営業所です(ただし、エネルギー・CO<sub>2</sub>・廃棄物の集計は三重ナルミ(株)およびPT.NARUMI INDONESIAを含む)  
 \*5 副産物等排出量は一般廃棄物およびハウスカレット発生量を除いています

▶ WEB ▶ 環境に関するデータ: ESGデータ(環境/Environment)  
<https://www.ishizuka.co.jp/csr/esg-data>

独立第三者の保証報告書



独立第三者の保証報告書

2023年10月13日

石塚硝子株式会社  
 代表取締役 社長執行役員 石塚 久継 殿

株式会社サステナビリティ会計事務所  
 代表取締役 福島隆史

1.目的  
 当社は、石塚硝子株式会社(以下、「会社」という)からの委嘱に基づき、「サステナビリティレポート2023」掲載の2022年度会社国内グループにPT.NARUMI INDONESIAを加えた範囲におけるスコープ1 CO<sub>2</sub>排出量: 94.9千t-CO<sub>2</sub>、スコープ2 CO<sub>2</sub>排出量: 84.9千t-CO<sub>2</sub>、スコープ3 CO<sub>2</sub>排出量(カテゴリ 1,2,3,4,5,6,7,9,12,13計): 452千t-CO<sub>2</sub>、ガラスびん CO<sub>2</sub>排出量: 79千t-CO<sub>2</sub>、PETボトル用プリフォーム CO<sub>2</sub>排出量: 51千t-CO<sub>2</sub>、紙容器 CO<sub>2</sub>排出量: 2.7千t-CO<sub>2</sub>に対して限定的保証業務を実施した。本保証業務の目的は、CO<sub>2</sub>排出量が、会社の定める算定方針に従って算定されているかについて保証手続を実施し、その結論を表明することにある。CO<sub>2</sub>排出量は会社の責任のもとに算定されており、当社の責任は独立の立場から結論を表明することにある。

2.保証手続  
 当社は、国際保証業務基準 ISAE3000 ならびに ISAE3410 に準拠して本保証業務を実施した。  
 当社の実施した保証手続の概要は以下のとおりである。  
 ・算定方針について担当者への質問  
 ・算定方針の検討  
 ・算定方針に従って CO<sub>2</sub>排出量が算定されているか、試査により入手した証拠との照合並びに再計算の実施

3.結論  
 当社が実施した保証手続の結果、CO<sub>2</sub>排出量が会社の定める算定方針に従って算定されていないと認められる重要な事項は発見されなかった。

会社と当社との間に特別な利害関係はない。

以上